

第1回税制全体のグリーン化推進検討会

2025年7月2日（水）10:00～11:00

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 税制全体のグリーン化推進検討会の開催について
- (2) 令和7年度環境省税制改正要望の結果について
- (3) 我が国におけるカーボンプライシングの導入に向けた直近の動向について
- (4) その他

3. 閉 会

配 付 資 料 一 覧

【資料】

- ・ 資料1 税制全体グリーン化推進検討会の開催について
- ・ 資料2 令和7年度環境省関係税制改正について
- ・ 資料3 令和7年度環境省税制改正要望結果（詳細）
- ・ 資料4 我が国におけるカーボンプライシングの導入に向けた直近の動向について

議 事 概 要

1. 税制全体のグリーン化推進検討会の開催について

環境省から資料1について説明。

2. 令和7年度環境省税制改正要望の結果について

環境省から資料2、資料3について報告。これらに対する委員からの主な意見は下記のとおり。

- 生物多様性維持協定が締結されている土地についての相続税・贈与税の評価減に関して、評価減の対象について、「一定の土地」と限定する記載や「活動区域の土地の所有者等」と幅を持たせる記載があるのはなぜか。

3. 我が国におけるカーボンプライシングの導入に向けた直近の動向について

環境省から資料4について報告。これに対する委員からの主な意見は下記のとおり。

- 化石燃料賦課金が導入された場合、地球温暖化対策のための税に影響はあるのか。税金と賦課金で構造が異なることは理解しているが、今後徴収する際に二重課税的な側面に対する議論が生じるのではないかと思う。
- 排出量取引制度について、初期割当としてグランドファザリングが用いられるとあるが、早期に対策に取り組む企業が不利になると思う。オークションに移行することは検討しているか。EU ETS も最初はグランドファザリングで開始し、途中からオークションを導入していたことを踏まえると、将来的にはオークションを取り入れた仕組みになるのではないかと思う。

以 上